

地区別計画



共通事項	164
坂崎地区	166
幸田地区	168
中央地区	170
荻谷地区	172
深溝地区	174
豊坂地区	176

地区別計画

本町は、自然条件や社会的・地理的な条件から6つの小学校の学区に区分されています。本計画においては、住民にとってより身近な生活圏となる小学校区を単位として、それぞれの地区の個性を生かした地域づくりの方向を明示し、事業の推進を図っていきます。



共通事項

1. 避難施設整備と地域防災力の強化

- 総合治水対策や地域における避難施設として重要な学校体育館及び地域集会施設の耐震整備、地域の防災力を高める施策の検討

2. 循環型社会の構築

- ごみの減量、再使用、再利用など循環型社会の構築に向けた意識啓発及びリサイクルプラザなどの建設

3. 良好な自然環境の保全

- 身近に残る里山や水辺環境の保全及び動植物などの保護

4. 道路網の整備

- 幹線道路と連携した生活道路の整備

5. 公共下水道整備

- 快適なより良い住環境の確保や公共水域の水質保全を図るための公共下水道整備

6. 農林業の振興

- 生産者組織の強化及び担い手農家の育成、農地の利用権設定など面的集積や集落営農の推進と森林の保全

7. 医療施設の整備

- 総合的な病院の誘致

8. 子育て支援

- 安心して子どもを産み育てることのできる子育て支援体制の整備

9. 高齢者の社会参加の促進

- 高齢者の働く機会づくり、地域活動、生きがいづくり支援の検討

10. 高等教育施設の整備

- 大学や専修学校など学園施設の誘致

11. 自主的なまちづくり活動への支援

- 地域防災、地域防犯、地域福祉、環境保全などの住民活動への支援

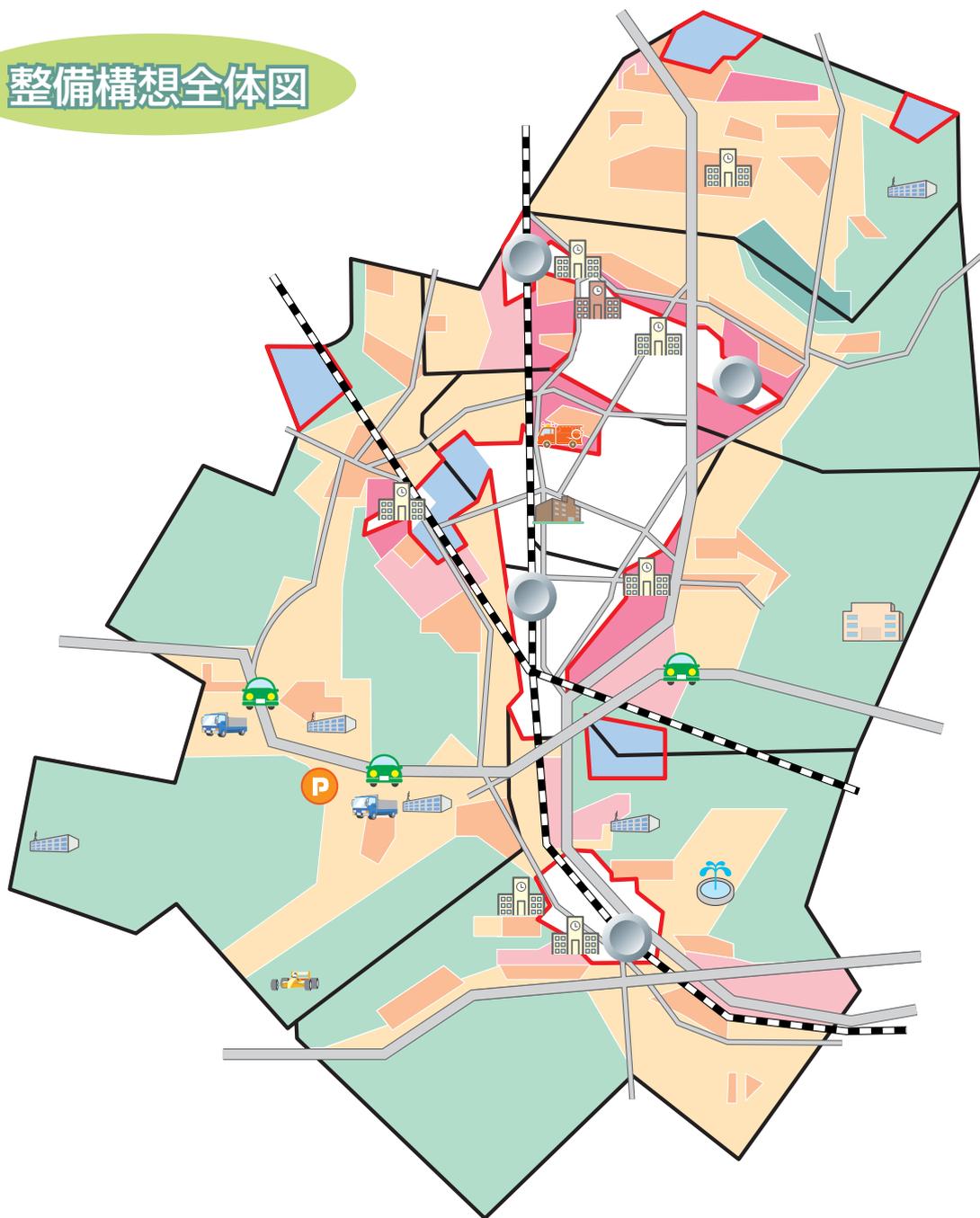
12. 行政区の見直し・検討

- 行政区域や学校区の見直し検討

13. 公共施設の整備

- 総合的な公園や体育館、給食センター、郷土資料館、第2授産所の建設、保育所や児童館、学校施設の整備、墓園の整備

整備構想全体図



◆凡例

市街化区域	都市拠点 JR幸田駅・三ヶ根駅 JR(仮称)相見駅 ハッピーネス・ヒル・幸田	宿泊施設
想定市街地	インターチェンジ	JR 東海道本線・JR 東海道新幹線
拡大市街地 (候補地)	役場	道路
既存集落	消防庁舎	道の駅
工業用地	小中学校	工業団地開発地 (候補地)
森林	高等学校	流通サービス拠点 (候補地)
農地		レジャー施設
ゴルフ場		公園 (候補地)

坂 崎

地区
SAKAZAKI



現状と課題

- 坂崎地区は、北部から東部にかけて、京ヶ峯に代表される身近な里山をもち、その山裾に長嶺、久保田、坂崎の3つの集落と、集落の間際に広がる水田や町特産の筆柿の樹園地などで構成される田園環境豊かな地区であり、古墳や窯跡などの文化財や歴史的人物ゆかりの地でもあります。
- 坂崎北部地域においては、隣接する岡崎市側から徐々に都市化が進んでいますが、さらに秩序ある計画的な住宅地の整備及び居住環境の整備が望まれています。
- また、京ヶ峯地区においては、老人福祉施設が建設され、今後地域福祉を通じた新たなコミュニティ形成が期待されるとともに、町の均衡ある発展を図る意味からも、この地域に新住民の定住、とりわけ若い世代の定住を促す地域開発を行い、地区の活性化をさらに図っていく必要があります。
- 農業は、水稻や苺、筆柿などが生産されていますが、本地区に限らず、生産者の高齢化や後継者不足が深刻で、これからの農業を維持発展していくためにも魅力ある農業の創出や担い手農家の育成が急務となっています。
- 国道248号が本地区を縦断し、(仮称)相見駅や第二東名などへの近接性をいかした発展が期待されています。

将来イメージ

- 緑豊かで良好な環境を維持し、水と緑の潤いのある居住環境の整備を進めます。また、農業や工業そして地域に残る文化が調和する地域として、新住民の定着をめざした施策を進めます。

主要施策

1. 市街地整備

- 坂崎北部地区の市街地開発の誘導

2. 住宅団地開発

- 京ヶ峯山麓における、緑の中の質の高い住宅団地開発の誘導

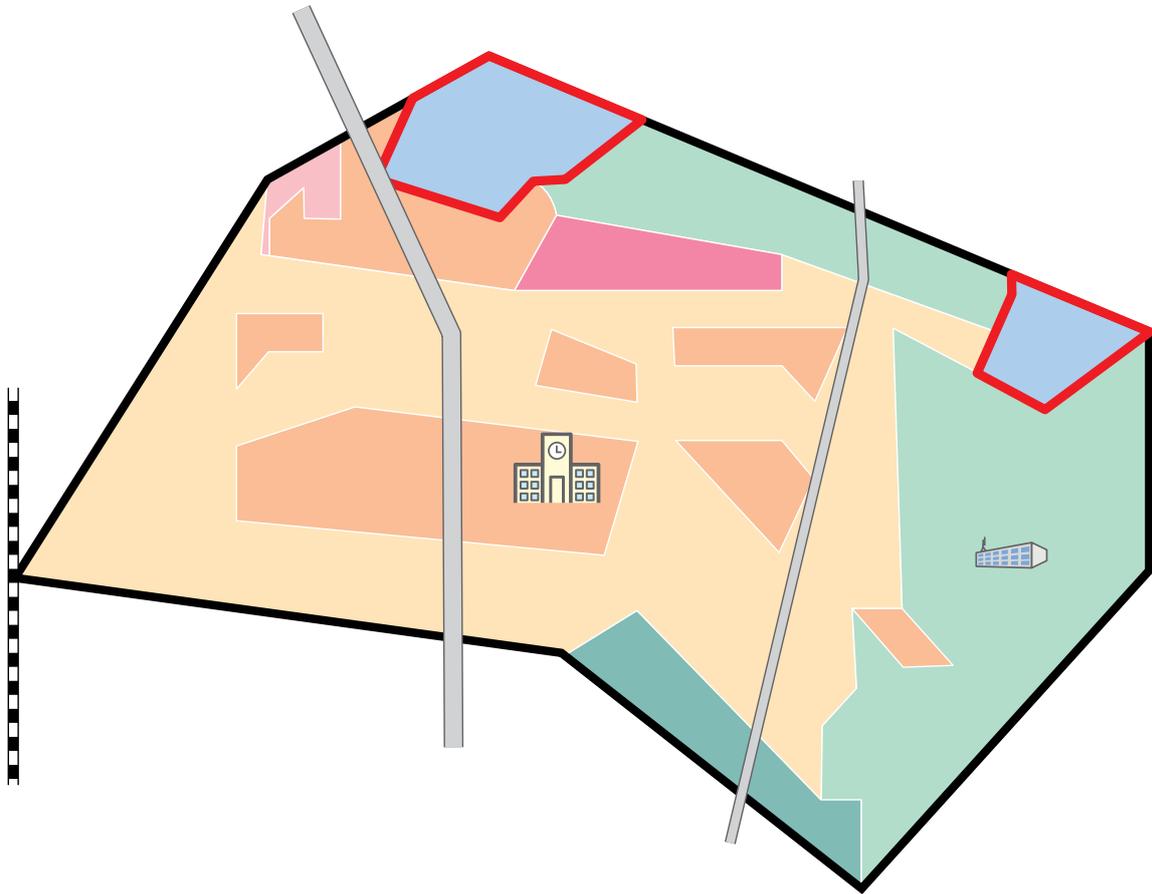
3. 工業用地の整備

- 久保田地区の新規工業団地開発の誘導

4. 自然とのふれあいの場の整備

- 京ヶ峯などにおける自然とのふれあいの場の整備
- 歴史的資源周辺的环境整備と水辺整備による歩行者ネットワーク化

坂崎地区



◆凡例

- | | |
|------------|--------------|
| 市街化区域 | 農地 |
| 想定市街地 | ゴルフ場 |
| 拡大市街地（候補地） | 坂崎小学校 |
| 既存集落 | JR東海道本線 |
| 工業用地 | 道路 |
| 森林 | 工業団地開発地（候補地） |

幸田

地区

K O T A



現状と課題

- 幸田地区は、東部に国定公園区域に指定されている山々を配し、その山裾には町内最大規模の大井池や光明寺池など多くのため池と、既存の市街地や集落を取り囲むように整然とした農地が広がり、豊かな自然景観を形成しています。
- 大草、高力、鷲田の3区にまたがる部分に市街化区域がありますが、大草山添土地地区画整理事業やハッピーネス・ヒル・幸田周辺地区の地区計画によって居住環境の整備が進んでおり、大規模店舗を含め商業施設の設置により新たな市街地が形成されてきています。
- また、相見特定土地区画整理事業を今後も着実に実施することにより、多様なニーズと魅力を備えた幸田町の都市・交通の交流拠点として新駅の実現化を図っていきます。
- この2つの拠点整備をインパクトとして、まち中央部から北部方向に拡大する市街化を計画的に誘導する役割が求められています。
- 既存の市街地や集落には、道路基盤が脆弱な箇所があるため、緑の景観を活かしつつ計画的な基盤整備を推進する必要があります。
- また、大井池については防災上非常に重要な治水調整機能を保有しており、周辺住民の安全確保を図るうえからも防災ダムとしての整備促進を図る必要があります。

将来イメージ

- (仮称)相見駅やハッピーネス・ヒル・幸田を交流拠点とした周辺の新市街地形成により、文化機能、商業機能および情報機能などの都市的機能の集積を充実し、質の高い交流拠点づくりをめざします。

主要施策

1. 都市基盤の整備

- 相見地区、田多美地区、広野地区及びハッピーネス・ヒル・幸田周辺の都市基盤の整備

2. 市街地整備

- 相見南部地区における市街地開発の誘導

3. 土地区画整理事業の促進

- 相見特定土地区画整理事業の促進

4. 幹線道路の整備

- 六栗大草線、生平幸田線の整備促進

5. 河川・ため池等の整備

- 防災ダム(大井池)事業
- 地域用水環境整備事業(大井池)の推進

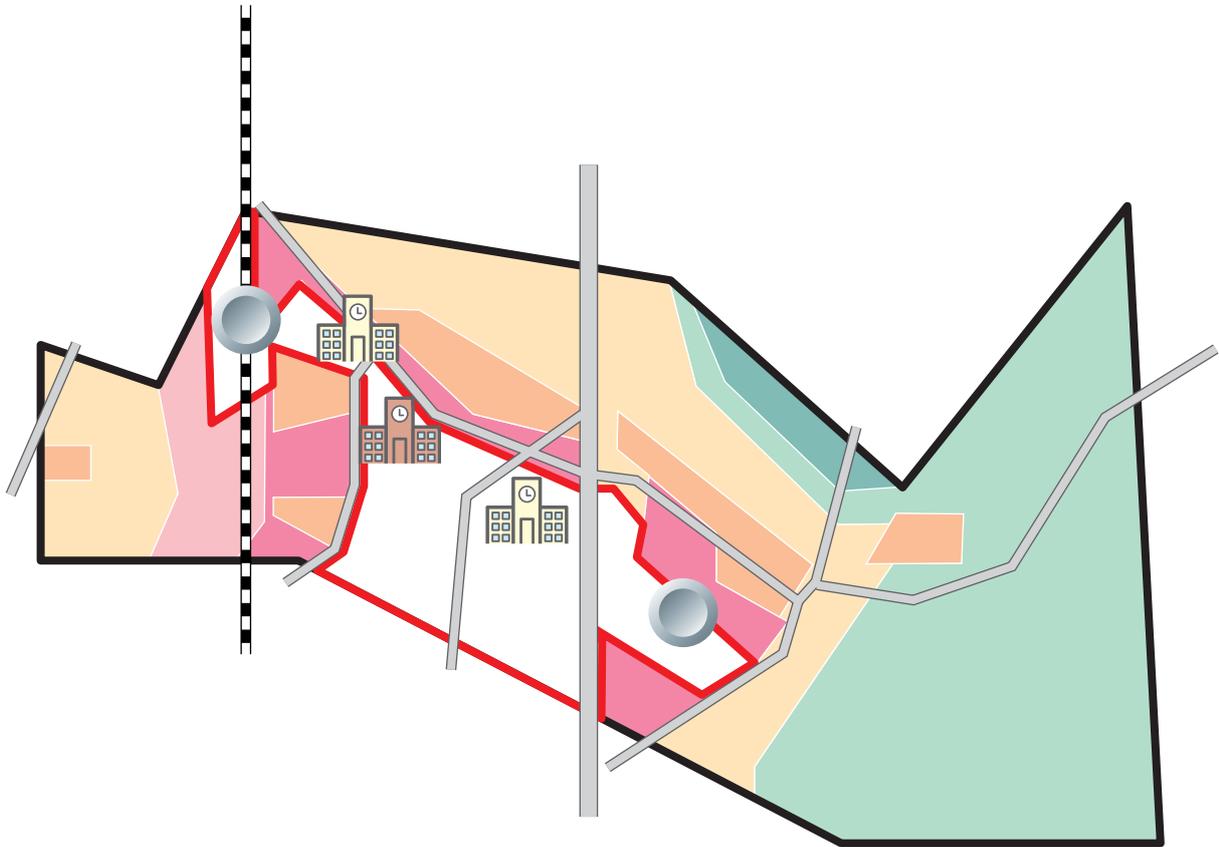
6. 教育施設の整備

- 相見地区の新設小学校等の検討

7. 観光資源の創造

- 健康の道整備

幸田地区



◆凡例

- | | | | |
|---|-------------|---|-----------------|
|  | 市街化区域 |  | 都市拠点 (3 駅プラス 1) |
|  | 想定市街地 |  | J R (仮称) 相見駅 |
|  | 拡大市街地 (候補地) | | ハッピーネス・ヒル・幸田 |
|  | 既存集落 |  | 北部中学校、幸田小学校 |
|  | 森林 |  | 幸田高等学校 |
|  | 農地 |  | J R 東海道本線 |
|  | ゴルフ場 |  | 道路 |

中央

地区

CHUO



現状と課題

- 中央地区は、町のほぼ中央部に位置し、駅に近く、役場、消防庁舎、幸田中央公園などの公共施設が地区内に多く立地しており、商業施設の集積などと併せ生活利便性の高い地区です。また地区西部には、菱池開墾による農地が広がっています。
- この地区の一部では、都市化の進行とあいまって、集中豪雨によって広田川が決壊し、床上や床下浸水などの被害に見舞われており、広田川の総合治水対策が喫緊の課題となっています。各機関との調整を図りながら、早期に具現化していかなくてはなりません。
- また、駅との近接性を活かして中高層の住宅地への機能更新を促進することなどにより、土地の有効活用、住宅地としての収容能力の増大を図り、地区の購買力の増強や地区のにぎわいを求めていくことが必要と考えられます。人・物・情報の交流を盛んにするとともに、まちの中央部にふさわしい商業や文化および情報機能の高度化を促す必要があります。

将来イメージ

- 地区内を走る骨格道路の整備や市街地開発の誘導を図り、まちの中心部にふさわしい利便性と豊かな居住性を兼ね備えた、安全で質の高い市街地づくりをめざします。

主要施策

1. 都市基盤の整備

- 岩堀北部地区などの都市基盤の整備

2. 幹線道路の整備

- 六栗大草線、野場横落線、岩堀線などの整備促進

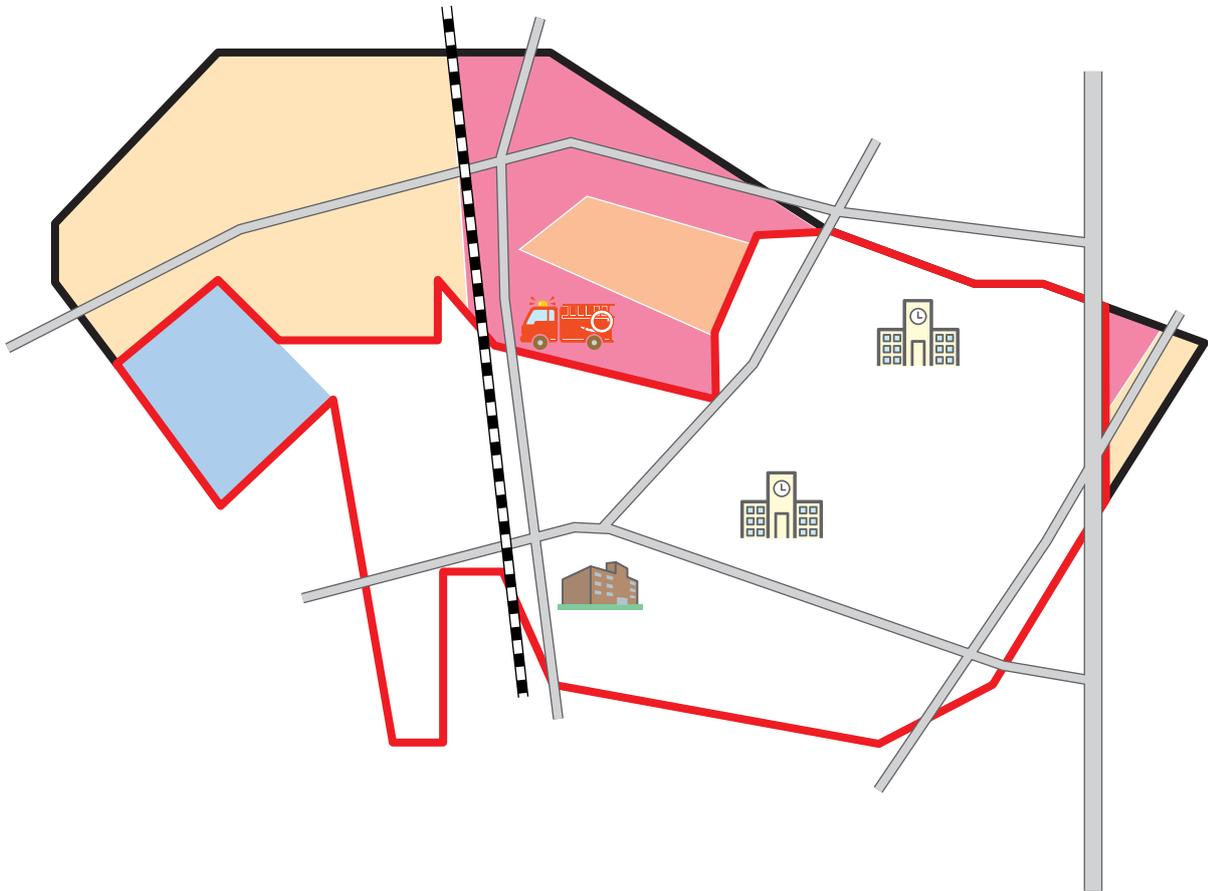
3. 河川等の整備

- 広田川遊水地計画の推進

4. 子育て支援体制の充実

- ファミリーサポートセンターの設置

中央地区



◆凡例

- | | |
|---|---|
|  市街化区域 |  役場 |
|  想定市街地 |  消防庁舎 |
|  既存集落 |  幸田中学校、中央小学校 |
|  工業用地 |  J R 東海道本線 |
|  農地 |  道路 |

荻谷

地区

O G I Y A



現状と課題

- 荻谷地区は、民間開発による大規模な住宅地整備が行われ、新たな行政区が誕生するなど、近年都市化が著しく進行している地区の一つです。都市拠点として位置付けられる幸田駅周辺においては、中心市街地の再生に向けた取り組みが重要な課題であり、幸田駅前土地区画整理事業を着実に実施し、町の玄関口にふさわしいまちづくりを推進する必要があります。また、中央地区と同様に、市街地内部では都市基盤の整備が遅れているため、住環境の改善が求められています。
- 市街地から東側にかけては、苺を中心とする施設園芸が営まれる農地が段々に広がり、さらにその東側一帯は国定公園に指定された遠望峰山に囲まれており、頂上からは本町全体がみわたせるという景勝地としてのすぐれた景観があります。
- 本地区では、幸田駅周辺の都市的整備ならびに国道248号沿いでの沿道開発、国道23号（名豊道路）芦谷インターチェンジの開設などによって開発の期待が大きいことから、今後の開発により土地利用が混在することのないよう土地利用を適切に誘導し、無秩序な開発の未然防止、土地の有効利用を図っていくことが必要です。

将来イメージ

- 遠望峰山の優れた森林景観、施設園芸の盛んな豊かな農村景観を保全しつつ、中心市街地にふさわしい活気とにぎわいのある市街地形成、および幸田駅ならびに国道248号や国道23号（名豊道路）の交通条件を生かした産業拠点整備を図ります。

主要施策

1. 幸田駅周辺の整備

- 幸田駅前土地区画整理事業による幸田駅周辺の整備

2. 都市基盤の整備

- 国道248号以西地区の都市基盤の整備

3. 市街地整備

- 芦谷インターチェンジ周辺の市街地開発の誘導

4. 幹線道路の整備

- 芦谷高力線、芦谷蒲郡線、芦谷線などの整備促進

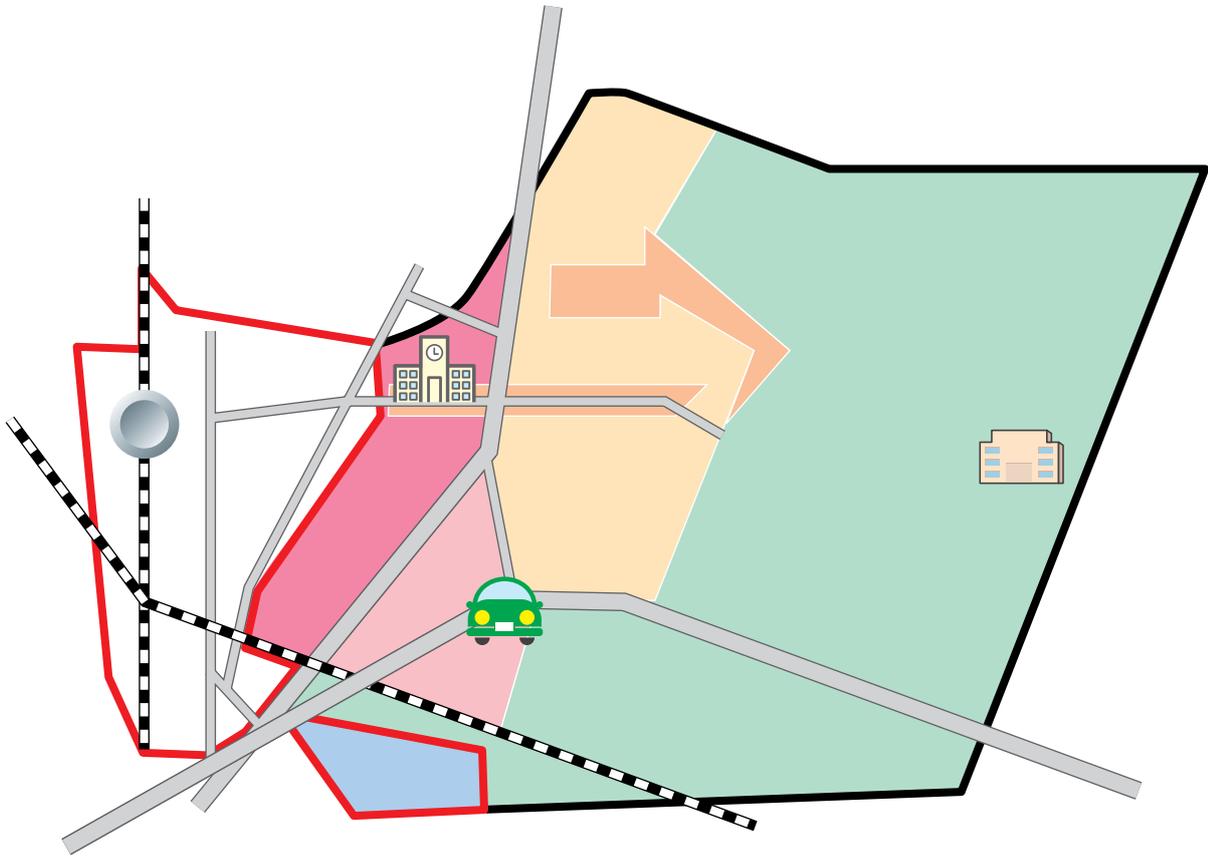
5. 河川・ため池等の整備

- 地域用水環境整備事業（不動ヶ池）の推進
- 不動ヶ滝園地整備

6. 観光資源の創造

- 健康の道整備

荻谷地区



◆凡例

- | | | | |
|---|-------------|---|---------------|
|  | 市街化区域 |  | 都市拠点 (3駅プラス1) |
|  | 想定市街地 |  | JR幸田駅 |
|  | 拡大市街地 (候補地) |  | インターチェンジ |
|  | 既存集落 |  | 小中学校 |
|  | 工業用地 |  | 宿泊施設 |
|  | 森林 |  | JR東海道本線 |
|  | 農地 |  | 道路 |

深溝

地区

FUKKOZU



現状と課題

- 深溝地区の東部・南部は緑濃い山林が広がり、美しい山の稜線をみせています。特に南部山林一帯は、三河湾国定公園に指定され、豊かな自然環境が保全されています。また、あじさい寺で有名な本光寺があり、三ヶ根駅は形原温泉、西浦温泉あるいは三ヶ根山といった近隣観光地の玄関口でもあることから、これら観光資源と美しい自然環境を地域整備に活用していくことが必要です。
- 市街地は地区のほぼ中央部にある三ヶ根駅周辺に形成されています。駅周辺の既成市街地では土地区画整理事業による整備が完了し、良好な住宅地の形成が進んでいます。しかし、土地区画整理区域以外は、都市基盤が脆弱で、特に里北部地区の市街地では住工混在の市街地が広がっており、住工周辺の環境整備を図っていく必要があります。
- 中部国際空港への交通アクセスとしても重要な衣浦蒲郡線などの臨海部と内陸部を結ぶ重要路線が通過することから、交通条件の良さを地域活力にうまく利用し、住宅団地開発や工業団地開発の誘導などにより、町の南部の発展を牽引する都市づくりをめざしていくことが必要です。

将来イメージ

- 町の都市拠点として位置付けられる三ヶ根駅周辺を中心に、快適でゆとりある居住環境と工業環境が調和した市街地形成を図るとともに、豊かな自然環境や歴史的な史跡・文化遺産を活かした観光振興など、個性豊かな交流のまちづくりを進めます。

主要施策

1. 三ヶ根駅周辺の整備

- 三ヶ根駅周辺の観光・サービス機能の充実

2. 住宅団地開発の誘導

- 蛸沢池、稲葉山、見晴山周辺地区における住宅団地開発の誘導

3. 工業用地の整備

- 里地区の新規工業団地開発の誘導

4. 幹線道路の整備

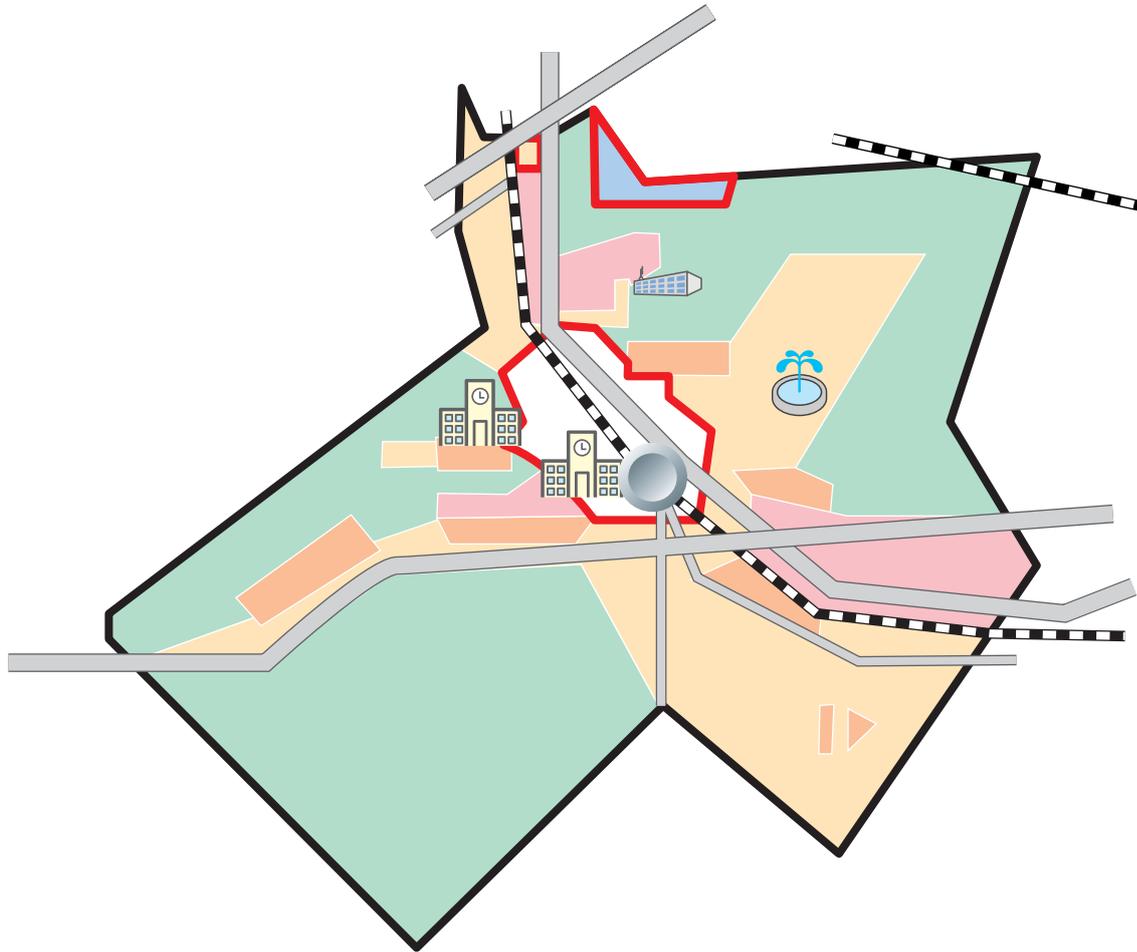
- 安城蒲郡線、深溝西浦線などの整備促進

5. 公園の整備

- 農村公園の整備

6. 老人福祉施設の誘致

深溝地区



◆凡例

- | | | | |
|---|----------------------------|---|--------------|
|  | 市街化区域 |  | 南部中学校 |
|  | 拡大市街地（候補地） |  | 深溝小学校 |
|  | 既存集落 |  | JR 東海道本線 |
|  | 工業用地 |  | JR 東海道新幹線 |
|  | 森林 |  | 道路 |
|  | 農地 |  | 工業団地開発地（候補地） |
|  | 都市拠点（3 駅プラス 1）
J R 三ヶ根駅 |  | 公園（候補地） |

豊坂

地区
TOYOSAKA



現状と課題

- 豊坂地区は、南西部に広がる山間の地区で、6つの集落により構成されていますが、それぞれの集落が地形的に分断されているため、地区の中心性が形成されにくく、医療・工業・商業・教育などの分野における生活の利便性を高めていく必要があります。
- 人口の定住化を図り、まちの中心部とのネットワークを強化し、都市的機能を高めていくことが重要な課題となっています。
- 須美、桐山を中心とする地域では、町特産の筆柿をはじめみかん・梨・ももなどの樹園地が広がっていますが、作業効率の悪い樹園地や後継者の不足など近年の農業離れによって地域活力が失われている側面もあります。ここでは、両区のほぼ中央を横断する名豊道路に開設される桐山インターチェンジ、須美インターチェンジ、道の駅を地域活性化のきっかけとし、将来の発展に結び付けていく必要があります。

将来イメージ

- 伝統ある個々の集落基盤を基礎としつつ、農業振興に取り組むとともに、人口定住に向けた市街地開発や新たな交通体系整備を活かした産業や流通サービス拠点の開発などに取り組み、ゆとりある農村環境と活力ある産業拠点が共存する都市づくりを推進します。

主要施策

1. 都市基盤の整備

- 野場地区の都市基盤の整備

2. 市街地整備

- 駅西地区における市街地開発の誘導

3. 工業用地の整備

- 須美地区及び上六栗地区の新規工業団地開発の誘導

4. 流通サービス拠点の整備

- 須美地区及び桐山地区での流通サービス拠点開発の誘導

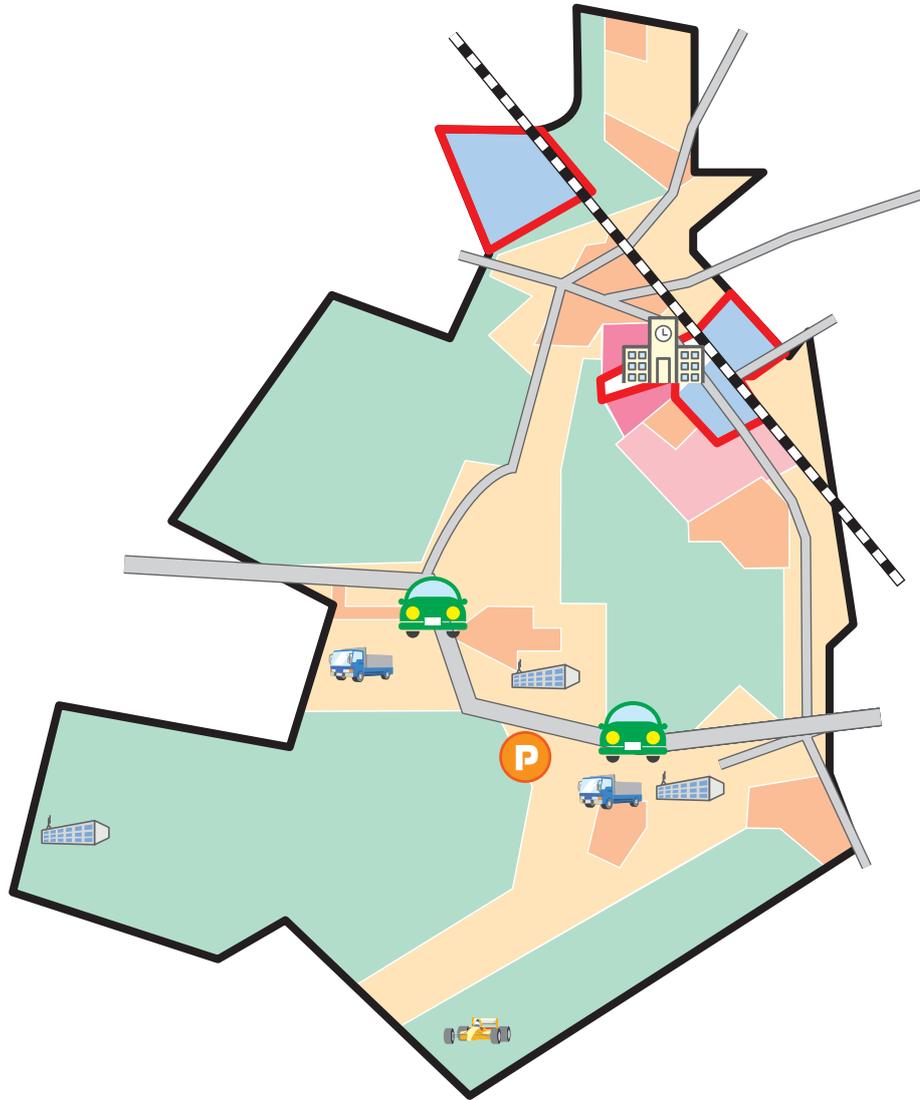
5. 幹線道路の整備

- 上六栗線及び野場横落線などの整備促進

6. 都市交流の促進

- 道の駅整備及び交流拠点としての事業推進

豊坂地区



◆凡例

- | | |
|------------|---------------|
| 市街化区域 | インターチェンジ |
| 想定市街地 | 豊坂小学校 |
| 拡大市街地（候補地） | JR 東海道新幹線 |
| 既存集落 | 道路 |
| 工業用地 | 道の駅 |
| 森林 | 工業団地開発地（候補地） |
| 農地 | 流通サービス拠点（候補地） |
| | レジャー施設 |